

令和6年度第1回尾張旭市学校給食運営委員会議事要旨

- 1 開催日時
令和6年7月18日(木)
開会 午後2時30分
閉会 午後4時10分
- 2 開催場所
尾張旭市学校給食センター 食育指導室
- 3 出席委員
14名
- 4 欠席委員
1名(若杉沙恵委員)
- 5 傍聴者数
2名
- 6 出席した事務局職員
教育部長 山下昭彦、学校教育課長 山田祐司、庶務係主査 後藤祐輔、
学校給食センター所長 三浦明美、学校給食係長 森永久美、技師 高橋雅大、
栄養教諭 深尾直美、田中日菜、大澤綾奈 以上9名
- 7 議題等
 - (1) 尾張旭市学校給食運営委員会の委員長及び副委員長の選出
 - (2) 報告事項
 - ア 令和5年度学校給食実施報告について
 - イ 令和5年度学校給食センター食育事業結果について
 - ウ 令和6年度学校給食センター食育事業について
 - (3) その他
学校給食用食材費の現状について
- 8 会議の要旨

事務局(所長)	<p>定刻となりました。委員の皆様には、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。ただ今の出席委員は14名です。若杉委員から欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>尾張旭市学校給食センター設置条例施行規則第6条に規定する「委員の過半数の出席」の要件を満たしておりますので、ただ今から、「令和6年度第1回尾張旭市学校給食運営委員会」を開催します。</p> <p>なお、この会議は会議公開制度により会議の傍聴と市ホームページ等による会議録の公開が行われますので、御承知おきください。</p> <p>それでは、尾張旭市学校給食センター設置条例施行規則第5条の「委員の互選により委員長が決まる」までの間、私が進行役を務めさせていただきます。</p>
---------	---

	<p>きますのでよろしく申し上げます。</p> <p>はじめに、教育部長から御挨拶を申し上げます。</p>
教育部長	(挨拶)
事務局(所長)	<p>それでは、初めての会議でございますので、委員の皆様から簡単な自己紹介をお願いします。</p>
各委員	(名簿順に自己紹介)
事務局	(部長から順に自己紹介)
事務局(所長)	<p>それでは、議事に入る前に、学校給食運営委員会の役割等について御説明いたします。</p> <p>委員の皆様には、学校給食センター設置条例第15条により、給食センターの運営に関する事項について、御審議を頂きます。任期は、本年7月1日から令和7年6月30日までの1年間で、会議は今回を含めて2回ほどの開催を予定しております。</p> <p>それでは、議事に入ります。会議次第の2正副委員長の選出でございます。正副委員長の選出については、委員の互選によることとなっております。はじめに、委員長の互選の方法について御意見はございますか。</p>
速水委員	推薦がよいと思います。
事務局(所長)	<p>ただ今、推薦という御意見がありましたが、この方法でよろしいですか。</p>
各委員	(拍手あり)
事務局(所長)	<p>お認めいただきましたので、推薦による方法とします。どなたか御推薦をお願いします。</p>
速水委員	尾張旭市小中学校長会会長の城山小学校長の大澤委員を推薦します。
事務局(所長)	<p>ただ今、速水委員より大澤委員を御推薦いただきましたが、他にございますか。</p> <p>無いようですのでお諮りします。大澤委員に委員長をお願いすることに御賛同いただけます方は、拍手をお願いします。</p>
各委員	(拍手あり)
事務局(所長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>大澤委員が委員長に選出されましたので、委員長席へお移りいただき、以降の進行をお願いいたします。</p>
委員長	<p>(挨拶)</p> <p>それでは、早速ですが、副委員長の選出に入りたいと思います。</p> <p>副委員長も、委員の互選となっております。副委員長の互選の方法について、御意見はございますか。</p>
柴田委員	推薦がよいと思います。

委員長	ただ今、推薦というご意見がありましたが、この方法でよろしければ拍手をお願いします。
各委員	(拍手あり)
委員長	それでは、推薦による方法とさせていただきます。どなたか御推薦をお願いします。
柴田委員	三郷小学校からはお二人の委員がおみえになりますので、三郷小学校PTA役員の山下委員を推薦します。
委員長	ただ今、柴田委員から山下委員の御推薦いただきましたが、他にございますか。 無いようですのでお諮りします。山下委員に副委員長をお願いすることに御賛同いただける方は拍手をお願いします。
各委員	(拍手あり)
委員長	ありがとうございました。 山下委員におかれましては、副委員長の席へ移動をお願いします。
副委員長	(挨拶)
委員長	それでは次第の3報告事項(1)令和5年度学校給食実施報告について事務局より説明をお願いします。
事務局(係長)	(資料に沿って説明)
委員長	ただ今の事務局の説明に対して、御意見、御質問等はございませんか。
松尾委員	1ページ目の収入について、収入未済額が867,000円と記載があり、これが令和5年度の滞納額だと思いますが、何世帯ありますか。10世帯なのか、100世帯なのか、規模感覚が知りたいです。
事務局(学校教育課長)	今お話いただいた件につきまして、手元に資料を持ちあわせておらず、正確にお答えできず申し訳ありません。世帯数的にはそれほど多くなく年度末ギリギリのところ給食費の引き落としができなかった方もおり、手続き的に年度をまたいでしまっております。
松尾委員	わかりました。ありがとうございます。
委員長	他にありますか。
松尾委員	(7)残さいについて、各小中学校の残さい量が記載されていますが、どのように測定されているのかを教えてください。それと、各小中学校で測定しているのか、一旦持って帰ってきてセンターでまとめて測定しているのか、毎日測定しているのか、週に1回しか測定していないのか教えてください。
大澤栄養教諭	小学校につきましては、調査対象のところに記載がありますが、2年生と5年生の全クラスのおかずの食べ残しを給食センターに戻ってきた食缶を秤に載せて測定しております。中学校については、全学年のABクラスについて、おかずの残さいを同じように測定しております。毎日測定

	しております。
松尾委員	<p>大変ですね。ありがとうございました。</p> <p>市や学校として、「今月は1人当たりの残さい量を50グラム以下にしましょう」等の目標値はありますか。今のままだと、「瑞鳳小学校が1番多くて、渋川だと1番少ないね」と学校同士の比較にしかないと思いました。「毎月50グラム以下にしよう」といった目標値があれば、全校50グラム以下の日は、「みんな頑張ったね」とわかりやすいと思います。そのような具体的な数字での目標管理があるのか教えてください。</p>
大澤栄養教諭	<p>センターとしては、数字での目標管理を学校に示しておりません。私共栄養教諭が、各校を指導で巡回させていただく時には、子どもたちに「みんなのもう一口で食べ残しが減るよ」とお伝えしています。</p>
宇理須委員	<p>前回は問題になりましたが、この残さい量が、全体の何パーセントに相当するのかが大事だと思います。99%食べているなら全く問題ないです。今回は何%ぐらいの残さい量ですか。一昨年度は90%以上食べていたような覚えがあります。気にしないといけない残さい量なのか、このくらいならやむを得ないね、という残さい量なのか、大事だと思います。</p>
大澤栄養教諭	<p>少ない学校ですと1桁で5～7%という学校もありますけども、多い学校ですと10%ぐらいの残さい量があります。今日のような暑い時期ですと少し食べが良くなく、20～25%くらい残ってきてしまいます。</p>
満岡委員	<p>旭中学校では、前年度、残さいが多かったので、給食委員みんなで考えた、「学校全体で残さいを減らそう」キャンペーンを行っていました。今年度は実施されるかわかりませんが、生徒の方でも意識して変えていこうという活動をしています。今回の資料を持ち帰って、また意識をしてもらえたらと思います。</p>
大澤栄養教諭	<p>そうですね、旭中学校さんはとても頑張っていて、子どもたちの頑張りが、私たち栄養教諭も驚くほど、すごく残さいが減ってきています。本当に子どもたち、また、先生方の声が大切なんだな、ということが目に見えてわかる結果が出ています。</p>
元田委員	<p>給食を停止したい場合は、2日前までに連絡するとのことですが、停止連絡があったときには、その分を調整して調理されているのですか。</p>
大澤栄養教諭	<p>発注が前月に行われるので、おかずについては減らすことはできませんが、主食と牛乳につきましては、学校の方からカットの申し出があった分は、カットしています。また、学級閉鎖や学年閉鎖などの大きなカットの場合、例えばコロッケでしたら、その分は揚げずに冷凍のまま保管しておき、何かあった時に使用し、無駄のないようにしております。</p>
元田委員	<p>小中学校の不登校の人数はわかりませんが、そういった休むか休まな</p>

	<p>いかわからない子どもの分についても、給食を調理されているのでしょうか。</p>
大澤栄養教諭	<p>学校によって対応が異なり、不登校の方の給食をカットしている学校もあれば、いつでも給食が出せるように給食をカットしていない学校もあります。カットしていない学校で登校してこなかった場合は、残さいとして計上されてしまいます。また、当日、発熱や風邪等での欠席者分も、そのまま計上された結果になっております。</p>
速水委員	<p>不登校の子どもたちの給食カットは、学校が決めるのではなく、保護者と相談して決めています。</p>
近藤委員	<p>3ページに基本物資の平均単価が載っていて、麺の単価が他よりも高く、数円の少ない差ですけども、塵も積もればだと思えますが、その高い分、児童生徒たちの残さいは少ないのでしょうか。少なければ麺を出す意義があるのかなと思えますが、おかずによっても残さいは変わると思いますが、主食の残さいの違いはわかりますか。</p>
大澤栄養教諭	<p>麺は大体月に2回提供させていただいていますが、ご飯やパンに比べると残さい率的には低い値を示しています。ラーメン、きしめん、うどんのサイクルで提供しておりますが、どの麺も割と食べ残しが少ないです。先ほどのお話にもありましたが、麺だとすごく喜んでもらえたり、また、人気メニューの上位にも入っていたりしております。</p>
元田委員	<p>給食センターのトラックは何台あるのか、また、配送ルートで給食時間が短縮されることはあるのか教えてください。</p>
大澤栄養教諭	<p>配送車は6台あります。配送ルートによって給食時間が変わることはないです。各校で給食の始まる時間と終わる時間は決められるので、その決まった時間の中で小学生も中学生も食べています。ですから、配送が遅いとか、回収が早いからということで、食べ残しに繋がる可能性は低いと考えております。</p>
大澤委員長	<p>他によろしいでしょうか。 それでは、次の報告事項(2)「令和5年度学校給食センター食育事業結果」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局(係長)	<p>(資料に沿って説明)</p>
委員長	<p>ただいま事務局より説明がありましたところで、何か御質問、御意見等はありませんか。</p>
柳生委員	<p>残さいについてですが、(7)の残さいの表を初めて見させてもらって、お話にあった通り、学級閉鎖で休んでいる子や、夏に食べ残が多いとのことでしたが、このデータからも、やはり夏は食べ残が多いと感じました。夏に食べ残が多いのは、暑いからだと思えますが、毎年同じように夏は高くなるデータなのかお聞きしたいです。それと、やはり夏こそ食べ</p>

	ないと、体力的にとか、熱中症対策の観点からもいけないと思いますが、無理に食べさせるのはいけません、しっかり食べてもらうために、さっぱりしたメニュー、暑くても食べやすいメニューといった検討はされているのでしょうか。
委員長	夏は残さいが多いということで、何かそれに対する工夫があるのか、お答えをお願いします。
大澤栄養教諭	夏は主食の残さいが多いので、ご飯が進むように料理の味付けを工夫したり、丼ぶりのようにご飯と一緒に食べられるメニューを提供したりするよう心掛けています。また、和え物についても、なるべくさっぱりとした味付けにしています。デザートをつける場合は、冷凍みかんや、冷凍洋なし、フローズンヨーグルト、冷凍ゼリーなどサッパリ食べられるようなものを提供して、暑い日でも、なるべく体力が落ちないように、食べてもらえる工夫をしております。
松尾委員	先ほどの7月の残さいが多いというお話でしたが、7月の後半は夏休みに入っていて通常よりも給食の日数が10日ぐらい少ないので、そのため、1日あたりの欠席者の影響も多く、夏バテで少し食べにくいということもあり、残さいが多く出るのではないかと思います。
大澤委員長	影響はありますか。
大澤栄養教諭	給食提供日数で計算していますので、給食回数が少ないから残さいが多いということはありません。欠席者はどの月もおりますが、7月のデータを見ると、確かに昨年度は多かったのも、暑くて夏バテの影響があったのかもしれない。残さいを測定しているのが、2年生と5年生で、その学年で夏バテや感染症でお休みが多いと、数字に影響が出る調査方法です、それが原因の可能性もあります。
副委員長	低アレルギー給食の提供ということで、月に2回、アレルギーがある子もアレルギーを持ってない子も同じ給食を食べてもらっていると思いますが、月2回ではなく、例えば、週1回、月曜日はこの低アレルギーの日にしよう、アレルギー食を作る方もすごく気を付けて作ってらっしゃると思いますが、先生方も配膳等する時も、緊張というか、負担とまで言いませんが、先生たちも今日はみんなが同じものを食べられるから、少し気が楽だなという日が、週に1回あってもいいのかなって思います。それと、低アレルギー給食なので食材が限られてしまい、決まった献立になりがちだと思いますので、もう少し献立を色々増やしていただくと、低アレルギー給食が広まるのかなと思いい見させていただきました。
委員長	低アレルギー給食に関して工夫や今後の見通し等をお願いします。
大澤栄養教諭	ご指摘の通り、メニューがワンパターン化しがちなところがあります。2回のうち1回は子どもたちに人気のある手巻きのりでツナを巻いて

	<p>食べるメニューで、もう1日を月によってとメニューを色々変えて提供しております。今まででしたら、衣が小麦粉だったフライを米粉を使ったフライに変えたり、加工品を使用せず給食センターで一から調理したりすることによってアレルゲンの少ないメニューを考えています。</p> <p>資料には毎月2回と記載がしてあり、献立表にも2回表示がありますが、よくよく見ていただくと、実はもう少し副食から8大アレルゲンを除去した日（あさびースマイル給食）があります。記載はありませんが、回数が倍以上ある月も多くあります。</p>
宇理須委員	<p>低アレルゲン給食として、8大アレルゲン除去の給食のほかに、28品目除去の給食を実施されているとのことですが、28品目の方が当然食べられる子が増えると思いますが、実際どれくらい増えたのですか。</p>
大澤栄養教諭	<p>28品目除去は、昨年度初めて実施させていただきました。こちらは年に1回、12月1日のみの実施で、普段アレルギーで給食を食べていないお子さんで申し込まれた方は、1名おられました。アレルギーが理由で食べられていないお子さんにつきましては、残念ながら、申し込みがありませんでした。</p>
宇理須委員	<p>28品目除去を頑張られても1人だけだったのですね。</p>
大澤栄養教諭	<p>初めての取り組みでしたので、どのくらいの方が申し込んで食べていただけるのかわからないところがありました。少し期待しておりましたが、実際に蓋を開けてみたらお1人だけでした。やはり食器や器具まで心配されるご家庭は、副食から28品目除去となっても難しいのかなと思いました。</p>
宇理須委員	<p>お弁当持参のお子さんが、この日だけは給食が食べられるということで、給食を食べてくれることを期待したけど、お弁当から給食に変更したのは1人だけだったということですね。メニューとしては食べられるけれども、心配なご家庭だと応募してこないということですね。</p>
大澤栄養教諭	<p>はい、そう思われます。</p>
宇理須委員	<p>費用対効果というわけではありませんが、努力が報われないですね。より喜んでもらうためにはどうしたら良いですかね。</p>
委員長	<p>他によろしいでしょうか。</p> <p>「もっと！あさびースマイル給食28」の実施日が令和6年となっておりますが、令和5年の間違いですね。</p>
大澤栄養教諭	<p>令和5年12月1日が正しいです。令和6年も12月に実施予定です。</p>
委員長	<p>また今年度も実施するということです。他によろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次の報告事項（3）令和6年度学校給食センター食育事業について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局（係長）	<p>（資料に沿って説明）</p>

委員長	ただいま事務局より説明がありましたが、御意見、御質問等はございませんか。
元田委員	食育指導室、食育実習室は一般の人も利用可となっておりますが、利用方法や料金体制はありますか。
事務局（係長）	利用料は無料です。利用申請書の提出が必要です。市のホームページにも利用申請書の様式を掲載しております。
宇理須委員	<p>8大アレルゲンを除去した「あさびースマイル給食」についてですが、平常の給食でも出さないものも結構ありますよね。例えば、カシューナッツ、瀬戸市は年に1回ぐらい出ていたようですが、それも止めたと聞きました。尾張旭市は元々出さないですよ。そういう目で見ると、ここに他の入っていないものを記載しても良いのではないかと思います。くるみが8大アレルゲンに入ったのは非常にいいことだと思いますが、元々、くるみは平常の給食でも出していないですよ。そばとピーナッツもそうですよね。8大アレルゲンと書いてありますが、平常出していないものもここに入れた方が、むしろ宣伝することで、「この日は食べられる」となるのではないかと思います。</p> <p>もう1つは、平常の給食では出ない食材も尾張旭市は結構ありますよね。私から見ても、正直、食物アレルギー対応については、名古屋市よりも頑張っていると思います。平常出さない食材を記載したほうが、「今日は食べられる」と思う人が増えるんじゃないかということと、それからもう1つ、平常出さないものをもっと選定してあげると、「うちの子はこの日の給食なら食べられる」と理解してくださる親も増えるのではないかと思います。そういった出さないものの宣伝や、あるいは出すものの宣伝を実施すると良いと思います。これを名古屋市の保育課は実施しています。どうして良いかと言いますと、未摂取も給食では除去になってしまいます。親が「未摂取です。」と言っているのに、話を聞いていると給食では食べていることがあります。給食に出る食材で、自分の家では出ないような食材を積極的に食べていただければ、給食が食べられるようになります。ですから、可能であれば、給食で出さない食材、出す食材の宣伝をしていただきたいです。内容が多少変わることもあるかもしれませんが、例えば、名古屋市ですと給食に出す食材の宣伝をしています、「変更する可能性があります」とコメント付きで案内をしています。同じようにしていただくと、この8大アレルゲンも生きてきますし、平常の給食も食べられるお子さんが増えてくるのではないかと思います。</p>
大澤栄養教諭	7大から8大に表記が変わりましたのは、特定原材料の食品表示のところが7大から8大に変わりましたので、それに合わせまして本市でも表示を変えさせていただいたという経緯がございます。くるみにつきましては、先生のおっしゃる通り、以前から使用しているものではないので、

	献立やメニューが変わったかと言われますと、市内で提供させていただいている献立につきまして、変更したところはないです。また、これ以外にも、28品目のうちで使用していない食材は、ご指摘の通りありますが、周知につきましては、今のお話を受けて、今後の検討課題とさせていただきますので、よろしくお願いたします。
委員長	今後検討していくということです。他によろしいでしょうか。報告事項については終わります。それでは、4その他です。事務局、お願いします。
事務局(所長)	(資料に沿って説明)
委員長	事務局より「学校給食用食材費の現状について」説明がありました。率直なご意見、感想を、とのこと。ご発言がある方はお願いします。
吉田委員	直接食材費に関わってくるかわかりませんが、今は牛乳がほぼ毎日出されていると思いますが、ご飯、味噌汁、魚等、日本の伝統的な献立の時には、お茶にすることはできないのですか。業者さんとの契約等もあるとは思いますが、食文化として、お家ではご飯を食べるときには牛乳は出さないで、そういった面を少し考慮していただきたいです。
深尾栄養教諭	学校給食は、子どもたちに食べさせなければいけない栄養価の基準が決まっております。その中でも摂りにくいカルシウムとか鉄分については、1日の3分の1ではなく、それ以上を摂るよという決まりがあります。カルシウムの摂取は牛乳に頼っているのが現状です。牛乳ではなく、魚等で補おうと思うと、子どもたちが悲鳴を上げるようなお魚の量になってしまうので、牛乳に頼らざるを得ません。他に何か方法があるというなと思っております。
委員長	その他、ご質問等ありますでしょうか。
松尾委員	先ほどのカルシウムのお話について、多分反対する方が多いと思いますが、例えば、サプリメントのような錠剤を使うのはあまりよろしくありませんよね。自分も子どもの給食でサプリメントが出たら、驚くと思います。食材の補填に活用している国の臨時交付金が終了した場合の課題として考えると、アイデアとしてあってもいいのではないかと思いました。あとは、私の次男が通っている幼稚園だと材料費が高くなったからと、値上げをするのではなく、お弁当の回数を増やし、値上げをせずに給食の回数を減らしていました。そういった給食の回数を減らす方法もアイデアの1つとしてあるのかなと思いました。
委員長	国の交付金が終了した場合、給食費の値上がりというのは、視野に入っているということですか。
事務局(学校教育課長)	値上がりが視野に入っていると言いますか、現在いただいている給食費では、先ほどのお話にもありました通り、必要な栄養を提供することが

	できなくなってしまうという状況です。
委員長	ということは値上がりですね。
宇理須委員	<p>この議論は毎回行われています。そこで、他の市町村を見てみますと、やはり市からの援助を増やして賄っているところがあります。尾張旭市の財政状況はわかりませんが、市長さんの判断も大事だと思いますけども、私は小児科医だから特に言いたいのですが、子どもの教育はやっぱり大事だと思いますし、子どもの栄養はもっと大事だと思います。そういった意味でも、何に予算を使うかという議論じゃないかと私は思うんですね。ですから、ぜひこの委員会で、保護者の負担を増やすことやむなしという結論を出すのではなくて、可能であれば市の予算で検討していただいて、子育て支援をする方向へ向かってほしいと思います。</p> <p>尾張旭市は、食物アレルギーに関してもそうですが、他の市町村より頑張っていると思います。そういう意味でも、私はいい場所で開業したなと思っており、誇りをもって外で講演する時にも「尾張旭市はこうやっているよ」と宣伝しております。ぜひとも、この委員会としては、増額で保護者の負担を増やすというアイデアではなくて、値上げが必要ならば予算でなんとか対応していただく方向に持っていったら、私は良いのではないかと思います。</p> <p>先ほどの牛乳についてですが、名古屋学芸大学教授の研究結果からも、牛乳を飲まない、ほぼ100%カルシウム不足になるそうです。カルシウムを補うのになぜ牛乳かと言いますと、乳製品ですからカルシウムの吸収がいいからです。ですから、牛乳をやめるというのは多分正当じゃないかと思います。</p>
岡部委員	先ほど市の支援というお話についてですが、説明であったプラス40円の部分は国の臨時交付金で賄っているということでしたが、市は0で何もしていないということでしょうか。要は、市は今まで何も負担していないのに、今回、臨時交付金がなくなるので保護者が負担してくださいではなく、はじめに市にお願いする段階はないのでしょうか。市が払えない状況だから、保護者がプラス払うのではなく、市の負担0から増やすということですか。
事務局（学校教育課長）	今の交付金なくなってしまうと、財源がなくなってしまう。
岡部委員	財政として、今まで子どもの給食費に当てる予算枠は全く考えていない、そういう前提でよろしいですか。
事務局（学校教育課長）	歳入としてそこで組むという形で、一般財源の場合だと特定財源と違い、明確にそれと当てるといふ書き方はしないので、少しわかりにくい部分もあると思います。
岡部委員	要は、先ほど言いました保護者に負担してもらう部分を市にお願いす

	<p>るという表現の中で、市が元々すごい負担をしている中で、さらにプラスになるのか、それとも市は全く手をつけてないのをお願いするというスタンスになるのか、頼み方の前提が少しわからなかったのでお聞きしました。今まで市にそこまで協力してもらえてない状況でしたら、PTAとしてはお願いしたいと言いたいですし、すでに、すごい負担をしてもらっていたのに関わらず、またさらに増えますよという形ですと、少しこちらも考えないといけない。</p> <p>前提の状況をお知らせいただくと、こういうのも意見しやすいかと思えます。</p>
委員長	その辺りはどういう状況ですか。
教育部長	<p>国の臨時交付金は、物価高騰対策を目的として全国の市町村に交付されたもので、本市ではこれを学校の給食材料費のほか、低所得者の方の生活支援やエネルギー費用の負担軽減等に活用しております。</p> <p>このため、学校の給食材料費に、市の負担、つまり市民の皆様に収めていただいた税金による負担は割り当てていません。</p>
岡部委員	<p>交付金が0になった場合に、自分たちの子どもたちのために、自分の家庭から出すのか、それとも私たち以外の市民の方たちのお金を少しでもくださいなのか、どちらのお願いの仕方をするかを私たちとしては考えていかないといけない。</p>
満岡委員	<p>臨時交付金は大体いつぐらいまで見込んでいるのでしょうか。それによつては、早急に対策をしていかないといけませんよね。</p>
教育部長	<p>現在活用している国の臨時交付金は、今年度末までを対象としています。先日の記者会見では「学校給食の保護者負担の軽減」に関する話題が上っていましたが、今後については不透明な状況にあります。</p>
近藤委員	<p>SDGsとの関わりというところで、リサイクルについてのお話があったと思います。それに関連しまして、先ほどの資料の写真の中で、牛乳にストローがついていましたが、他の市町村では、ストローなしで飲むところがありますが、給食材料費にストロー代がかかっているのかわかりませんが、SDGsやお金の観点から尾張旭市では、「ストローをなしにしましょう」という動きはありますか。</p>
事務局(係長)	<p>先ほどご説明しましたように、主食のご飯、パン、麺や牛乳は愛知県から「尾張旭市はこの業者ですよ」と割り当てられているので、市で業者を選定することはできません。現在、尾張旭市の牛乳は雪印メグミルクを使っておりまして、雪印メグミルクがストローのない牛乳を作ってくれれば、尾張旭市はその牛乳を購入することになりますが、現状、雪印メグミルクはストロー付きの牛乳を作っておりますので、市でストローのない牛乳の選択はできない状況です。</p>

大澤委員長	<p>他によろしいでしょうか。</p> <p>自分からいいですか。他の市町の話ですが、定額制をとっている市町があると聞きました。定額制にすることで、ある程度、保護者の負担を抑えながら、給食の提供ができるのではないのでしょうか。サブスクのような形にすれば、金額を抑えられるのかと思いますが、そういった事について、何か動向を掴んでいますか。</p>
教育部長	<p>給食費を月額制としている自治体や、今後の導入を検討している自治体もあるようですが、給食費が固定化されることに伴うデメリットを、どのように整理すべきか等の課題があります。</p>
委員長	<p>他に何か、率直なご意見、感想がありましたら、参考にさせていただけると幸いです。</p>
水野委員	<p>ごはん、パン、牛乳は、なぜ愛知県で選定されたものしか購入できないのですか。一括で決まっていた方が、価格が安くなるからですか。</p>
深尾栄養教諭	<p>おっしゃる通り、栄養価、安全性の高いものを安価に購入ができるからです。パンには子どもの成長を促すために、愛知県で決められていた配合で、脱脂粉乳がプラスして使われていたり、ごはん、パン、麺や牛乳は配送から、空の容器回収まで行ってくれたりするので、一般で購入するよりも安価です。需要と供給の関係で安くなっております。決められた予算の中で給食を提供するには、このシステムの方が、県の補助も入り、助かっております。</p>
松尾委員	<p>残さいのところに関連してですが、子どもが持って帰ってくる給食の献立表についてですが、子どもの目につくところに貼っておくと、「今日は何かな」と言ってすごい楽しみにしている様子が窺え、良いと思っています。子ども向けの残さい防止の活動も大事ですが、各家庭の親向けに、給食に興味持ってもらえるような活動もできると良いのかな、という意見です。非常にポップな感じで私は好きです。子どもとよく一緒に見えています。</p>
委員長	<p>それでは、給食費の増額分については、臨時交付金が終了した場合についても、市の方で保護者の負担が増えないようにしていただきたいということを、この会議の意見としてまとめていきたいと思えます。ぜひ、教育委員会の方でも同じように進めていただきたいと思えます。</p>
事務局(所長)	<p>次回の会議予定についてお知らせいたします。次回の会議は、来年の2月頃を予定しておりますが、協議事項が発生した際には、別で会議を開催する場合がございます。その際には、事前にご案内をさせていただきますので、よろしく願いいたします。以上です。</p>
委員長	<p>大変長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。ありがとうございました。</p>